

科目名		産業衛生工学実習	
科目責任者	石松 維世	(作業環境計測制御学 教授)	
担当者	石田尾 徹	(作業環境計測制御学 講師)	
開講時期:	2年次	単位数:	4 単位
		時間数:	90分× 60 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>作業環境に存在する有害因子の性質と挙動、および生体への影響について実習, 実験を通じて学ぶことにより、作業環境中で発生するこれらの有害因子を制御するための手法を体得することができる。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 作業環境に存在する化学的因子の対策について考察できる。</li> <li>2) 作業環境における物理的因子の対策について考察できる。</li> <li>3) 作業環境に存在する生物因子の対策について考察できる。</li> <li>4) 化学物質のばく露限界値の決定法について考察できる。</li> <li>5) 化学物質管理の具体的手法について提案できる。</li> <li>6) 化学物質管理の国際動向を深く理解できる。</li> <li>7) 個人ばく露濃度測定の方法について説明できる。</li> <li>8) 工学的対策の種類と優先順位について考察できる。</li> <li>9) 局所排気装置の原理が理解できる。</li> <li>10) 局所排気装置の構造と限界について説明できる。</li> <li>11) 局所排気装置の点検方法について考察できる。</li> <li>12) 局所排気装置の改善ができる。</li> <li>13) プッシュプル換気装置の効果的な設計ができる。</li> <li>14) 全体換気装置の効果的な設計ができる。</li> <li>15) 労働衛生保護具の使用上の問題点について考察できる。</li> </ol>			
● 評価方法	実習への参加度 30%・討議への参加度(質疑応答含む) 40%・課題レポート 30%で総合評価する。		
● 参考文献	実習の中で必要に応じ紹介する。		

● 授業内容

内容	担当教員
選択したテーマに関して、研究手法や研究倫理などの指導を行うとともに、得られた結果の解釈の仕方、まとめ方についての実践的な研究指導を行う。	石松
化学分析を中心に、工学的対策の実施に必要となる分析機器の原理、基礎実験及び分析方法に関する研究指導を行う。	石田尾
生物因子を中心に、環境気中のバイオエアロゾルの捕集、分析、同定および対策に関する研究指導を行う。	石松
ばく露により体内に摂取された化学物質の体内での挙動、反応に基づいたばく露限界値の決定方法に関する研究指導を行う。	石田尾